

ま 真室川町

# 議会だより

2021年1月25日

No. **153**



12月27日 新庁舎完成記念式典・テープカットが行われた

年頭のあいさつ .....	2
新型コロナウイルス感染症対策第4弾 .....	3
請願等・議会のうごき .....	5
一般質問（4人登壇） .....	6
人事院勧告に基づく人件費など総額2,700万円の減額（第4回臨時会） .....	10
議会報告会 .....	11
議員定数削減を決定 .....	13
表彰（総務大臣感謝状・町表彰条列表彰） .....	14

# 謹賀新年



新年あけましておめでとうでございます。日頃より町政発展と議会運営に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、昨年は記録的な小雪でありましたが、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、年を越してもなお終息せず、国難ともいえる一年でございました。

感染予防のため、様々な行事が自粛されましたが、我々議会は、町執行部へ要望を行ったり国へ意見書を提出するなど、適時、できうる限り活動してまいりました。

特に、特別委員会で議論を行ってまいりました、「議員の担い手対策」にも一定の結論を得たところです。この間、町民アンケートや公聴会など、当議会初の試みに大変多くの皆様よりご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今後も「開かれた議会」へ向け、なお一層取り組んで参る所存でございます。

また、年末には新たな役場庁舎が竣工しました。防災の拠点として安心・安全に利用することができ、町民の暮らしに寄り添った役場にしていかなければなりません。

本年も町議会議員一丸となり、町政の発展に尽力してまいりますので、皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心より祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

真室川町議会議長 五十嵐 久 芳

本年もよろしくお願いいたします



高橋秀則 議員 佐藤栄子 議員 佐藤一廣 議員 佐藤成子 議員 平野勝澄 議員 大友又治 議員 佐藤 正 副議長 五十嵐久芳 議長 外山正利 議員 菅原道雄 議員

注 感染症対策の密防止のため、昨年度のものを使用しております。

## 12月定例会

### 新型コロナウイルス感染症対策第4弾

子育て世帯・大学生等支援商品券発行事業やPCR検査費用補助金など

12月定例会は、9日から11日までの3日間の会期で開かれ、人事案件や条例等の改正、工事変更請負契約、各会計補正予算など、町長提案案件11議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

#### 人事案件

◆固定資産評価審査委員の任命について  
任期満了に伴う佐藤重孝氏（山屋）の再任について同意を求めるもの

#### 条例改正等

◆路線バス設置管理条例の一部改正について  
佐藤栄子議員 庁舎移転に伴う役場前バス停の移設について、運行距離が増えているがコースはどのようなものか。

町民課長 これまでのバス停から東に直進し、T字路を右折、末広町消防小屋から入り旧庁舎へぬけるコースとなる。



新庁舎前に移設されたバス停

る。

◆最上圏域下水道共同管理協議会規約の一部変更について  
菅原道雄議員 今回の

変更により当町の負担割合はどうなるのか。  
建設課長 協議会で共同管理をしている下水道処理場の運転監視の一部業務の負担率は、新庄市が65%から60%に、郡部については35%から40%になるが、人件費等の削減により負担額は約1万2千円減額

になる予定である。

菅原道雄議員 将来的に増額になる心配はないのか。  
建設課長 十分気を付けていく。

大友又治議員 他町村の水洗化率は、概ね80%に対して当町は66.2%と低い位置にある。生活排水処理施設普及率についても同様である。何らかの施策を講じ他町村と同じく80%台に上げる考えは。

町長 生活排水処理施設普及率県下ワースト1位からの脱却を目標としているところである。借地ということでは工事不能とか、高齢者世帯であるとか、なかなか困難な状況であるがアンケート結果を見据えて進めていきたい。  
建設課長 未接続世帯は、186世帯408名となっている。今後、具体的なアプ

#### 契約案件

◆新西郡橋補修工事変更請負契約の締結について

佐藤 正議員 設計数量の変更の理由は地覆コンクリートとアスファルトの増工が理由と思われるが、橋補修工事の事前の調査を行ったのか。そして工事施行の際、橋と取り付け路面の工事施行状況の不具合があるために増額になったのかを伺う。  
建設課長 設計については業者委託している。町では5年に1回全橋の検査を行っている。その上で今年度予算についても再度調査をおこなった上で設計を組んでいるが、当初の想定より少し多かった部分の増工の増額である。

# 議会のうごき

R2年11月～R3年1月

- 11月2日(月) 議会改革調査特別委員会  
 5日(木) 山形県町村議会広報研修会  
 7日(土) 最上広域市町村圏事務組合創立50周年記念式典  
 14日(土) 町表彰式・町民各賞受賞を祝う会  
 17日(火) 高速道路合同大会  
 20日(金) 町議会運営委員会、全員協議会、議会改革調査特別委員会  
 25日(水) 町議会第4回臨時会  
 25日(水) 県関係国会議員との交流懇談会  
 26日(木) 町村議会議長行財政セミナー
- 12月2日(水) 町議会運営委員会、全員協議会  
 9日(水)～11日(金) 町議会第4回定例会  
 17日(木) 最上地方町村議会議長会12月例会、自治振興研修会  
 21日(月) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会  
 22日(火) 最上市町村議会議長会、市町村長と議会議長の意見交換会、最上県勢懇話会例会  
 25日(金) 最上地区広域連合議会12月定例会  
 27日(日) 役場新庁舎完成記念式典
- 1月7日(木) 新庄青年会議所新年式典

## 中止・自粛の日程

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

- 第64回町議会議長全国大会 (動画視聴)
- 令和2年度町成人式 (延期)

○議会広報常任委員会の開催 (1/4、1/12、1/15、1/18)

# 請願等

●国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願書

【請願者】

新庄民主商工会 会長 安食 輝敏

【紹介議員】

平野 勝澄

【結果】継続審査



## 補正予算

◆一般会計補正予算

子育て世帯・大学生等支援商品券発行事業

菅原道雄議員 当町から住所を移動している学生は対象となるのか。また何世帯あるのか。

福祉課長 商品券の配布については、子育て臨時給付金対象者とする。住所を移しているも対象となる。ひとり親世帯数は79世帯である。



子育て世帯・大学生等支援商品券

## 産業振興条例奨励補助金

大友又治議員 どのような事業者に補助するのか。

企画課長 町内に事業所を新・増設した場合の用地、建物取得に対する補助で、今回は、町内事業者の事業場の移転拡張に伴うものである。

## 観光振興費

大友又治議員 立木伐



伐採予定の梅里苑の立木

採作業として415万円とかなり高額であるが、内容は。

企画課長 梅里苑からの眺望を確保するため、施設南側の支障木を伐採するものである。急傾斜地であることから特殊伐採により算出した。

## 町営住宅管理費

佐藤成子議員 錦町住宅修繕料とあるが、平成29年度に給排水設備の改修工事が、すでに

行われている。新たな工事内容は、建設課長 2戸の退居に伴う壁床等に関する修繕工事である。

## 小・中学校振興費

佐藤 正議員 小中4校のICT教育関連機器

備品購入費が減額になっているが、新型コロナウイルス感染症による小中学校の対策は大丈夫なのか。

教育課長 予算減額については、入札の請け差分である。現在、ネットワーク工事を行っており、完成まで端末活用による指導の研究を進めていく。教育長 全国一斉の取り組みであり、すぐ導入とはいかないが、ネットの構築もあり、機器

については今年度中には揃える。コロナによる休校については、前回のノウハウもあり、その経験を活かしながら日々危機感を持って運営している。様々な事態を想定し、学びの保証ができるよう準備している。



新型コロナウイルス対策の簡易診察室

## ◆梅里苑事業特別会計

大友又治議員 繰入金の内容は。

企画課長 新型コロナウイルスの影響により、上半期の売上げが減少した分について、指定管理者に補填する予算を計上した。

## ◆その他の議案

◆国民健康保険特別会計補正予算 保険基盤安定制度による補正

## ◆後期高齢者医療特別会計補正予算

保険基盤安定制度やシステム改修などによる人件費の補正

## ◆介護保険会計補正予算

介護保険給付費準備基金積立金やシステム改修による補正

◆町立真室川病院事業特別会計補正予算 オンライン資格確認システム導入による補正

# 町政を問う

## 「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いたすものです。

(●印は要約して掲載しています)

- 高橋 秀則 議員……………P6・7  
●川を利用した観光をめざして
- 佐藤 栄子 議員……………P6・7  
●真室川町のこれからの観光振興と地域経済について
- 平野 勝澄 議員……………P8・9  
●空き家活用と福祉の連携について
- 佐藤 成子 議員……………P8・9  
●子育て応援からの住みたい町づくりについて

# 川を利用した観光をめざして

町長

## ■主催団体と協議しながら実施していく



高橋 秀則 議員

**議員** 釣り大会をバー  
ジヨンアップする考え  
は。  
**町長** 本町では「梅の  
里溪流つり大会」と「真  
室川町アユ釣り大会・  
鮎釣り教室」が実施さ  
れている。両釣り大会  
とも町内外からのリピ  
ーターが多く、参加者  
が年々増えつつある中  
で今年度は止むを得ず  
中止となったが、さら

に多くの方楽しんで  
いただけるように、開  
催時期や方法などを主  
催団体と協議しながら  
実施していく。  
**議員** 川マップを作成  
し、川遊びの安全性や  
便利を図る考えは。  
**町長** 最上地域観光協  
議会が「もがみ・川釣  
りマップ」を作成・配  
布しているが、発行か  
ら13年が経過し、当時

と状況も変わってきて  
いるので、マップの更  
新について関係機関と  
調整を進めていく。  
**議員** 防災センター周  
辺を川の駅として整備  
する考えは。  
**町長** 防災センターは、  
平常時には河川等に関  
する情報発信、スポー  
ツ、レクリエーション  
の場、地域の方々のコ  
ミュニティ施設、各種

# 真室川町のこれからの観光振興と地域経済について

町長

## ■発信と観光コンテンツの作成に取り組んでゆく



佐藤 栄子 議員

**議員** コロナ禍にあっ  
ても、またポストコロ  
ナを見据えて、当町が  
持つ地域資源を観光に  
生かす手立ては何か。  
**町長** 町独自の観光資  
源を活用し、管内市町  
村、関係団体との連携  
事業により、効果的な  
情報発信、戦略的な観  
光売り込みの強化、ウ  
イズコロナにおける受  
け入れ態勢の整備を行

うことで観光振興と地  
域経済活性化の相乗効  
果が表れるものと考え  
る。  
**議員** 真室川町歴史民  
俗資料館で開催された  
「及位宿」「中川木鈴」  
「鮎延秀綱」の事業や、  
各地域に残っている観  
光資源を地域の経済活  
性化に繋げて行く考え  
は。  
**町長** 企画展示してい

るものは、町の誇る先  
人たちが築き上げ、歴  
史と伝統文化が受け継  
がれてきた素晴らしい  
財産であり、中でも郷  
土の英傑、鮎延秀綱公  
については、茨城県古  
河市との姉妹都市とし  
て交流を深めていると  
ころである。  
**教育長** 今年の「及位  
宿」展は670人の来  
館者があり、スタディ

イベントの開催など交  
流の場として利用され  
ているが、有事に備え  
ており、洪水などの緊  
急時にはその名のおお  
り防災施設としての機  
能を果たさなければい  
けない。防災センター  
周辺への新たな観光施  
設の整備は困難である  
と考える。

## その他の質問

●図書館の利用拡大  
を図る考えは

**教育長** 蔵書検索や事  
前予約ができる図書貸  
出システムの導入の準  
備をしている。



鮎釣り大会の風景

ツアーはコロナ禍の影  
響でオンライン開催と  
している。地域を知り、  
町民の愛着と誇りにつ  
なげることが町の魅力  
を高めることになると  
考えている。  
**議員** 真室川北部小学  
校5・6年生が町の観  
光PRについて勉強さ  
れている。観光振興で  
地域活性化を期待した  
い。

## その他の質問

●健康寿命増進のた  
めの活動機会の確保  
について

**町長** 事業内容を精査  
しながら予算を検討し、  
持続可能な事業の取り  
組みを行っている。



観光コンテンツの資源

# 空き家活用と福祉の連携について

町長

■町が直接とはいかないが、これからの施策を頑張りたい



平野 勝澄 議員

**議員** あるアンケートで町民から出された空き家活用と福祉との連携のアイデアを2種類紹介する。ひとつ目は「パートナーが亡くなり一人になった場合、皆で住めるシェアハウスが欲しい。(冬季の除雪が大変)」というもの。この方は旧学校校舎を想定されていたが、空き家活用でも

きる。ふたつ目は「空き家を使って障がい者をグループホームという形で就労支援が出来れば良い」というものだ。行政として取り組める部分とNPO等、民間の力を借りなければならぬ部分があり、検討すべき課題は多いが、こうした意見をきっかけに、考え始め

てもいいのではないかと町長の考えを伺う。**町長** 高齢者向けシェアハウスは共同で生活できる安心感がある反面、介護施設などとは違って見守る方が常駐していないため、危険が伴う。「住いの場」ではないが、空き家活用では「みんなの茶の間・あべあべ」が好評であり、入居する施設

# 子育て応援からの住みたい町づくりについて

町長

■定住に繋がる効果的な施策について、総合的に検討していく



佐藤 成子 議員

**議員** 町では子育て応援事業をいろんな形でやっている。中でも「子育て支援センターたいよう」は、入所入園まえのお子さんの遊び場の提供や子育てばかりでなく孫育てに関する相談、援助を行っているときいた。コロナ禍の中で対応策、計画について伺う。**町長** 「安心して子ども

を産み、子育てに夢をもてるまちづくり」を基本理念とし、様々な施策と事業を展開している。「子育て支援センターたいよう」では、親子の触れ合いを持ちながら、ゆったり遊べる「親子の広場」、小さな赤ちゃん向けの「赤ちゃん広場」、遊びなど企画する「わんぱく広場」などの事業を

展開している。今年はコロナ禍による外出自粛の影響から、一時的に休止したり、来場者が少ないこともあったが、現在は、他町村からの利用者もあり、多数の親子から利用がある。コロナ禍であっても、感染症対策に万全を期し、「子ども子育て支援事業計画」に掲げる

## その他の質問

●介護保険料・利用料の軽減を

**町長** 7期計画は順調、8期保険料を試算中。

としては「生活支援ハウス梅の里」の利用拡大を図っていききたい。障がいのある方が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、日中活動や就労などを行う「通いの場」と夜間や休日を通す「住まいの場」を合わせて、24時間を通した支援が必要となる。本町では、現在のドリームハウスの機能と利用者拡充に向け、就労継続支援B型と生活支援を取り入れた新たな施設の設置を進めている。グループホーム開設予定の事業者があれば、県と協力しながら必要な手続きや補助制度の紹介など情報提供を行っていく。



空き家を活用した「みんなの茶の間・あべあべ」

施策・事業を着実に進めていく。

**議員** 町には子育てにも向いているしっかりとした公営住宅があるんだよ、と言ってみましたが、町の住宅事情の現状と方向性について伺う。

**町長** 緑町住宅と東町住宅については、老朽化が進み、耐震基準も満たしていないことから、入居者の再公募を行わず、解体を行う。

若者の定住を促進することは、自然減対策と社会減対策の両面で、とても重要な課題と考えている。町民の声を基に、今後の町営住宅の整備を含め、本町への定住に繋がる効果的な施策を総合的に検討していく。



# 第4回臨時会

会期：11月25日

第4回臨時会は、11月25日に開かれ、町長提出案件の人員費減額関連条例改正や各種会計補正予算6議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

## 条例改正

◆一般職員給与と条例の一部を改正する条例について

平野勝澄議員 人事院勧告により職員の手当が下がったが、職員組合の交渉等の内容で問題はなかったのか。

町長 人事院勧告であるので尊重することになった。

佐藤一廣議員 人事院規則の改正に伴い防疫作業手当が新設されたがその内容は何か。

総務課長 新型コロナウイルスウィルス感染症の感染者やその疑いのある方の診察を行う場合に支給する。3千円と4千円の場合があり感染者

への接触の度合いで違いがある。

(その他の議案)

◆町議会議員の報酬等に関する条例の一部改正

期末手当年間支給月数を3・40から3・35月に改定

◆特別職員給与と条例の一部を改正する条例

## 補正予算

◆町立真室川病院事業会計補正予算

【清掃委託料】佐藤正議員 清掃について昨年度まで臨時職

員が対応していたが今年度はどうなのか。

病院事務長 今年度はシルバー人材センターより一部派遣を受けている。

(その他の議案)

◆一般会計補正予算 人事院勧告に基づく給与改定や人事異動などによる人員費の補正

◆介護保険会計補正予算

人事院勧告に基づく給与改定や人事異動、防疫手当などの補正

## 人事院勧告とは？

国は人事院が、都道府県は人事委員会が行う公務員の給与に関する勧告を、それぞれ人事院勧告、人事委員会勧告といいます。給与勧告は、公務員の労働基本権制約の代償措置の一つとして、職員の給与が社会一般の情勢に適應するよう適正に定められるための手続きとして制度化されているものです。市町村等においては、組織効率化の観点からこのような組織は置かれていませんが、給与勧告等を参考として適切な措置が取られるべきものとされています。



通常の清掃に加え、消毒作業も増えている



10月22日から30日までにかけて、町内9会場において議会報告会を開催しました。参加いただいた皆さまから、議会と町に対する貴重なご意見や様々なご要望をいただきました。今後の議会活動へと反映させていただきます。ありがとうございます。すべてのご意見を掲載することはできませんが、抜粋・要約のうえお伝えいたします。

# 議会活性化に向けて

## — 9会場で議会報告会 —

- 10月22日(木)
  - ・中央公民館
  - ・及位地区改善センター
- 10月23日(金)
  - ・川ノ内公民館
  - ・東町2公民館
- 10月26日(月)
  - ・新田平岡公民館
  - ・釜淵多目的集会施設
- 10月27日(火)
  - ・ふれあいセンター安楽城
  - ・差首鍋地区生涯学習センター
- 10月30日(金)
  - ・大滝公民館

## 感染症対策

問 PCR検査は、いつになったら町内で受けることができるのか。

答 関連予算が先の臨時会で可決されており、

抗原検査は町立病院にて実施可能となります。PCR検査も、検査自体は業者委託となりますが、町立病院で検体を採取し、結果を確認できることとなります。

## 公民館

問 教育委員会が役場新庁舎へ移転すると聞いている。中央公民館のスペースが空くのであれば、きれいに改修して若い人が集まれるような図書館を整備してもらえないか。

答 執行部から移転後の活用方法は示されて

いません。スペースが空けばそのような活用も考えられるので要望していきます。

問 今年、分館の屋根塗装を行っているが100万円以上経費が掛かる。地区民の少ない分館の修繕は多額の経費に対応できないのではないかと。金額により補助率を変更するとか補助の上限を増額する等検討してほしい。

答 補助率の変更、増額について要望があった旨伝えます。

## 空き家

問 空き家を借りた場合、リフォーム補助は該当になるのか。

答 営利目的の賃貸でない場合は補助対象となりますので、事前にご相談ください。

問 町の顔である駅前交差点の四つ角が空き

家、更地となっている。見た目も悪いし、町として何か活用の計画など考えていないのか。

答 空き店舗活用への補助金などはありますが、今のところ駅前地区の再開発的な具体的計画はありません。

## 野生鳥獣

問 牧場向かいの転作田の畦畔がイノシシによる掘り起し被害を受けている。駆除対策をお願いしたい。

答 農作物被害を防止するための侵入防止電気柵の設置補助事業があり利用されておりまして、イノシシについては、被害のあった畑などに猟友会から「くくりわな」を設置してもらっておりませんが、まだ捕獲の実績はないようです。猟友会の会員も高齢化により会員数

が減少していることから、自ら「わな猟」の資格を取得してもらい、捕獲した時に猟友会から処分してもらおうなどの対策も必要になると思われれます。

問 クマを目撃して警察に連絡しても気を付けてくださいというばかり。捕らなければ減らないと思う。猟友会員が減っていると聞くと、何人で活動されているのか。

答 猟友会で鉄砲の免許を持っているのは8人。どうしても危険だとなれば駆除ということもあるので、農林課へご連絡ください。集落で何人か「わな猟免許」を取って、わなにいった場合の処分は猟友会に依頼するなどの取組みも必要かと思っております。資格取得の補助もあります。

## 交通

**問** 東北中央道の(仮)昭和ICに地域の物販ができるようなスペースはできないか。議会ではどのような要望をしているのか。

**答** IC名称に「真室川」を入れるよう要望しています。町長、商工会長も国に要望活動をやっているところですが、高速道路ができて通過するだけのようなどこではうまくないし、働くところも確保していききたい。第6次総合計画に入れてもらうよう議会としてもやっています。

**問** 町には路線バスとスクールバスがあるが、車両を区別なく有効に利用できるようにならないか。小又地区では、デマンドタクシーがない頃は、地域住民もスクールバスを利用させ

てもらっていた。

**答** 議会でも規制緩和について要望していますが、車両の購入に活用した補助金などの関係で目的外利用できないものや陸運局の認可の関係もあります。集落でもデマンドタクシーの使い方を相談してみてもどうでしょうか。

**問** 幹線だけでなく、春木〜三滝〜小又に路線バスを運行してほしい。他町村では枝線まで路線バスが行っている。デマンドタクシーは登録しなければならぬし、日時も決まっています。使い勝手が悪い。

**答** 過去に運行していた過疎バスは、利用者が少なく廃止した経過があります。デマンドタクシーは電話で受付ができ、希望の行先まで利用できます。趣旨をご理解いただきご利用をお願いいたします。

## 防災

**問** 現在は各地区に自主防災組織が設立されているが、長年経過すると訓練が行われなくなり災害時に対応できないのではないかと。自主防災組織を集めて定期的に研修会を実施してはどうか。

**答** 防災訓練の該当地区では避難訓練などが実施されますが、日頃、自主的に訓練されているところは少ないと思われるので、研修会の実施に向け検討されるよう要望します。

**問** ハザードマップについて当初作成してから、その後の検証がなされていないと思うので点検して更新してほしい。

**答** 今年から来年度にかけて見直す予定となっております。地元で危険箇所があれば、町や

議員に連絡していただけるとありがたいです。

## 農業

**問** おいしさ際立つ！米づくりプロジェクトの内容を教えてください。米価下落で米農家の状況は逼迫している。議会でも米農家への支援の仕方を考えてもらいたい。

**答** つや姫や雪若丸のブランド化を推進している県や市町村などで構成する組織があって、町はそこへ負担金を拠出しています。当町は米づくりの町なので、町での取組みを拡大できると提案していきます。

## 地域活動

**問** 地区に残る人が少なくなり、地区で傳承してきたお祭り等を中

止せざるをえない状況である。地区活動に対しての支援策を講じてもらえないか。

**答** 公民館に対する助成や街路灯のLED化などは実施しておりますが、地区の活動に対しても支援策を講じられるよう要望してまいります。

## 介護保険

**問** 当町の介護保険の令和元年度決算は赤字となっているので、もう少し保険料を安くできないか。

**答** 近隣自治体より介護施設が多く、我々も年をとれば世話になる可能性もありますから、その分保険料が高くなることはやむを得ない面もあります。一方、制度改正により平成30年度から段階的に引下げになっている方々も

相当数いらっしゃいますし、来年度の事業計画改定に向け担当課でも検討しているところですが。

## 議会改革

**問** 議会報告会については、参加者が昨年より減少しているの、増やす工夫をしてはどうか。

**答** 参加者の減少については議会でも議論しているところです。会場の変更や年間とおした活動の報告、また、開催の時期や時間についても今後検討してまいります。

**問** 地域から1人必ず議員を選出できるように、小選挙区制にはできないか。

**答** 法律が改正されないと難しい状況です。

# 議員定数削減 11人 ↓ 10人

## 本年3月の次回町議選より適用に

11月2日に開催された議会改革特別委員会で、これまでの調査と議論を踏まえ、議員定数と報酬について採決を行った結果、報酬については据え置き、定数については賛否同数で委員長裁定となりました。

佐藤正特別委員長は20日の特別委員会で定数削減を決断。12月定例会でこれを報告し、本会議に提出された発議に対し最終的な討論と採決が行われ、原案通り可決されました。

以下、反対・賛成討論の骨子です。

### 反対討論

#### 平野勝澄議員

議会はその自治体に住む住民の方々の様々な年齢層、職業、地域、性別、財産の有無、社会的地位の有無といった様々な方々の意見を十分にくみ取って議論をすべき。議員を

### 賛成討論

#### 外山正利議員

特別委員会の設置に際し、欠員が生じていて、そのこともあつての定数の議論だと考えていた。現状通りであれば議論の必要はない。町民の声が小さくなるから議員を減らすべきでないという考えは理解できなくはないが、12ということは一度も出

### 反対討論

#### 菅原道雄議員

偶数議論については賛成であったし、当初は10名にすべきという意見だった。しかし、今回の特別委員会設置の目的は、前回無競争であったことから、議員のなり手不足解消ということがあつた。そのために議員

### 賛成討論

#### 佐藤 正議員

特別委員長の立場で定数10とした。定数11ということだと、賛否同数の場合、議長に判断が求められる、と常々考えていた。今回委員長として同点の場合の判断が求められた。12ということであれば10。報酬についても、この時期では増額は考えられない。据え置きと判断した。

●投票総数 9票  
●有効投票 9票

### 賛成議員

### 反対議員

●佐藤 栄子議員 ・高橋 秀則議員  
●佐藤 成子議員 ・平野 勝澄議員  
●外山 正利議員 ・菅原 道雄議員  
●大友 又治議員 ・佐藤 一廣議員  
●佐藤 正議員  
原案の通り可決

## 総務大臣感謝状

(議員35年以上)



佐藤 一廣 議員

今般、総務大臣より、当町議会の佐藤一廣議員に対し永年在職町村議会議員に対する感謝状が贈呈されました。

これは、町村議会議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功績があったと認められる方に贈られるものです。

佐藤一廣議員は、現在9期目(36年目)であり、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。

## 町表彰条列表彰

(議員15年以上)



大友 又治 議員

今般、新田町長より、当町議会の大友又治議員に対し町表彰条例に基づく表彰状が贈呈されました。

これは、町議会議員の職に15年以上在籍して町制の進展に貢献し、その功績が顕著な者と認められる方に贈られるものです。

大友又治議員は、現在4期目(16年目)であり、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。

## 傍聴お待ちしております

● 次回の  
定例会は

# 3月です

令和2年の本会議議事録は町ホームページでもご覧いただけます。

URL <https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは  
議会事務局まで  
☎62-2220 (ダイヤルイン)

### 議会広報常任委員会

委員長	平野 勝澄
副委員長	佐藤 栄子
委員	佐藤 正
委員	佐藤 成子
委員	高橋 秀則

編集を終えて

今定例会が旧庁舎での最後の議会となり、感慨深い思いがありました。今議会は新型コロナ対策と議会改革が重点内容となりました。町民の皆様には、当議会で初の取り組みである議会改革アンケートと公聴会に御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、年明けは大雪と感染症拡大に伴う緊急事態発令があるので、はとの報道がありました。その中で明るい話題は役場新庁舎の竣工でした。庁舎は有事の際に救難救助の拠点となります。また、町民生活を守る政策を作る場所でもあります。町民が安心、安全に暮らせるように我々議員も努力をして責任を果たすことが大事であると思います。(佐藤 正)